

「猪苗代湖の湖底堆積物コア（INW2012）からみた 過去 2000 年間の湖環境変遷 中間報告会」 開催報告

2014 年 3 月 7 日（金）、「猪苗代湖の湖底堆積物コア（INW2012）からみた過去 2000 年間の湖環境変遷」中間報告会が、滋賀県立琵琶湖博物館において開催されました。参加者は 23 名でした。

当日は、コアの層序と年代、コアの間隙水や堆積物の化学組成、コアに含まれる微化石からみた環境変遷、コアに記録された様々なイベントの抽出など、10 件の発表が行われました。一般の参加者からも多くの質問があり、発表内容と今後の研究の進め方について、活発な議論が交わされました。過去 2000 年間の猪苗代湖における環境変動は、プロジェクトの主題の一つである環境遷移についての重要な情報を与えてくれます。また、この研究を進めることで、湖沼研究の分野にとって新しい成果がたくさん得られることが期待されます。来年度は報告書として成果をとりまとめること、報告会を福島で開催する予定であることをアナウンスして、閉会しました。

最後に、開場を提供いただいた琵琶湖博物館および準備等のお世話をいただいた館のスタッフの方々、後援いただいた日本第四紀学会古気候変動研究委員会に御礼申し上げます。



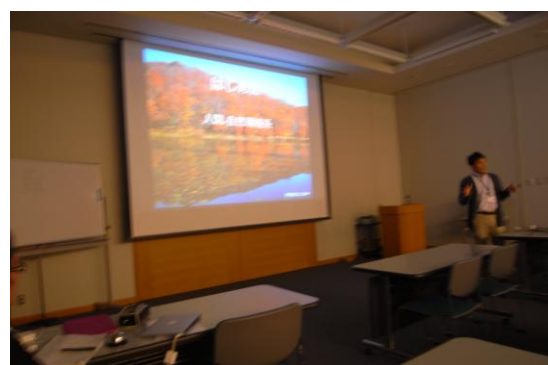
会場となった琵琶湖博物館
湖に関する館内の展示も素晴らしいです。



神野さんの研究発表



廣瀬さんの研究発表



林さん（琵琶湖博物館）の研究発表

<発表プログラム>

- ・「福島大学磐梯朝日遷移プロジェクトと猪苗代湖湖底堆積物コア研究の趣旨説明」：長橋良隆（福島大学共生システム理工学類）
- ・「福島県猪苗代湖の湖底堆積物コア（INW2012）の層序と年代」：廣瀬孝太郎・長橋良隆・中澤なおみ（福島大学共生システム理工学類）
- ・「安達太良山西方に分布する酸川ラハール堆積物の地質・年代・発生要因と猪苗代湖湖底堆積物との対応」：神野成美・長橋良隆（福島大学共生システム理工学類）
- ・「猪苗代湖湖底堆積物に記録された歴史的古地震・古洪水」：行木勝彦・井内美郎・山田和芳（早稲田大学人間科学学術院）
- ・「猪苗代湖湖底堆積物コア（INW2012）の過去 2000 年間の化学組成変化」：長橋良隆・中澤なおみ（福島大学共生システム理工学類）
- ・「猪苗代湖の湖底堆積物から抽出した間隙水の水質特性」：藪崎志穂・廣瀬孝太郎・高瀬つぎ子・長橋良隆（福島大学共生システム理工学類）
- ・「猪苗代湖の湖底堆積物コア（INW2012 コア）からみた過去 2000 年間の珪藻群集変化（予察）」：廣瀬孝太郎・長橋良隆（福島大学共生システム理工学類）
- ・「猪苗代湖ボーリングコアの含水率と有機炭素量変動から見た古環境・古気候変動」：公文富士夫・渡邊 慶（信州大学理学部）
- ・「猪苗代湖の湖底堆積物コアの花粉分析からみた過去 2000 年間の植生変化と人間活動の影響」：林 竜馬（滋賀県立琵琶湖博物館）
- ・「ロングコアの微粒炭分析からわかること」：井上 淳（大阪市立大学理学研究科）